

戦争とは

読谷小学校

6年

安井

海凜

みなさんは、戦争というものを知っていますか？戦争とは命あらゆるものを殺すむごいものです。戦争は多くのとうとい人命とかけがえのない文化遺産を失った。このような悲惨な戦争はあってはならないものだと私は思っています。

6年生になって平和学習に行きました。そこで、ひめゆり平和祈念資料館、系数アブチラガマ、平和のいしじへ行きました。そこで学んだことは、平和のとうとさ、そして、一人一人の命の重さです。

ひめゆり平和祈念資料館の第4展示室の、「鎮魂」という場所にある、生きのこった人たちの証言を大型本にしたものの1つを読みました。それのタイトルは、「生き埋め」でした。これを読んだ時、私はなぜ、かくれているのに、こんな目にあうのかな？と思いました。なぜなら、死にたくないからかくれてい

るのに、国のえらい人たちのためにこんな目
にあうのは、おかしいと思っただからです。

戦争とは、今あたり前に、できることがある
の時はできなかつた。人が幸せに生きるべき
権利をうばつたこの悲惨な戦争は、むごい戦
争は、もう二度とあつてはならないものだと思
いました。

意味もわからず、武器を持って戦う戦争、
国のためにと命をささげる戦争。まだ戦争を
やっている国の子どもは、こういいます。

「大人になりたい」その言葉を聞いたとき、
私は、どういう意味が分かりませんでした。
でも今は、戦争の悲惨さ、むごさを知って、
少し分かるような気がしました。

私が知った戦争は、ほんの少しかもしれま
せんが、そのことだけでも、むねがしめつけ
られる戦争は、本当に、あつてはならないも
のだなと思いました。

もしあの時に、まちがった教育をしていな
ければ、もしあの時に、もつと戦争というも

のの、「むごさ」「悲惨さ」を知っていたらば、戦争で生きのこった人の心のきずは、たくさん、のとうとい命をうばった戦争はなかつたのかなと思います。

戦争、それは、1生のこる深いきず。平和、それは、あふれるたくさの幸せ。

今を感じる幸せ、それは、本当にすてきなものだなと思います。